

クラス	ゼッケン	氏名	フリガナ	エントラント	タイムトライアル		予選		決勝		備考
					タイム	順位	順位	周回数	順位	周回数	
<p>6月3日(日)、2012トヨタTDPチャレンジSL生駒ミーティング第4戦、午前中は小雨のパラつく曇り空。午後からは晴の予報が出ているが、昨日夕方方にはゲリラ豪雨に襲われた生駒山。今年の生駒シリーズは雨の降らなかったレースはない。今日も急激な天候の変化に備えておく必要もあるかと思われたが、表彰式の頃には雲も切れ晴れ間が広がった。本日のエントリー台数は、キッズ(GT-1、GT-4)、ジュニア(カデット)、シニア(YAMAHA SS、YAMAHA SSチャレンジ、スポーツカート、スポーツカートチャレンジ)の7クラス合計50台。今回はキッズクラスで遠方からの初出場者がある一方、SKクラスの参加者は前回より減少している。それぞれのクラスの参加者を減らさない工夫をすることで徐々に全体のボリュームアップを図っていきたい。</p>											
SK	3	原 貞夫	ハラサダオ		34.977	1	1	10	1	15	今年度のシリーズでは、まだ優勝のない3年連続シリーズチャンピオンの原、今日はポールポジションから快調にトップを走行、後続車を大きく引き離していくことはないものの余裕の走りは風格さえ感じさせる。 決勝、スタートから激しく順位を競り合う10台。タイヤに乗り上げる際どいシーンも見られたが、レースは原と小池の先頭争いに落ち着いた。少し遅れて3番手を単独走行の谷の後ろでは、金治、鈴木が抜きつ抜かれつのバトルを楽しむように走っている。金治は激しい競り合いから縁石に乗り上げてストップ、代わって鈴木を追い上げてきたのは、2周目で順位をおとした山内。小池は終始、先頭原の後ろに張り付いていたが、今一歩届かず、原の今シーズン初優勝を阻止することは出来なかった。3位には谷がポジションキープで入賞した。
	11	小池 誠治	コイケセイジ		35.045	3	3	10	2	15	
	1	谷 和紘	タニカズヒロ		35.424	5	4	10	3	15	
	4	山内 剛志	ヤマウチツヨシ		35.010	2	2	10	4	15	
	10	鈴木 天真	スズキテンマ		35.190	4	8	10	5	15	
	8	後藤 英多郎	ゴトウエイタロウ		35.621	7	5	10	6	15	
	13	三浦 貴彦	ミウラタカヒコ		35.511	6	9	10	7	15	
	6	小谷 祐介	コタニユウスケ		35.995	9	7	10	8	15	
	7	小林 浩	コバヤシヒロシ		36.757	10	10	10	9	15	
	5	金治 祥平	カナジショウヘイ		35.776	8	6	10	10	14	
GT-1	1	神谷 甲輝	カミヤコウキ	びいたあばん	42.055	1	1	10	1	15	遠征組を迎えて更なる激戦が予想されるこのクラス、予選、初出場3番手スタートの岩間がホールショットを奪う。タイムトライアルポールポジションの神谷は5番手まで順位を落とすが、すぐに追い上げを開始、岩間、氏家、藤原、神谷のトップ4台の激しいバトルが続く。中盤一気に2番手に上がった神谷は、最終周、先行する岩間に並びかけるとそのまま押さえきってトップを奪う。ヘアピンで膨らむ岩間の前に、氏家、藤原の2台が入り、そのまま予選チェッカーとなる。 決勝、スタート直後から先頭神谷の背後にピッタリ張り付く氏家。スリップストリームを使い虎視眈々と抜き去るチャンスを窺う。その後ろでは4台が激しく順位を入れ替えながらの3位争い。中盤、長尾が集団を抜け出て先頭の2台に接近する。再び6台が縦1列の状態になり、レースは振り出しにもどったかのよう。しかし神谷は15周の間、ギャラリーの声援に答える余裕を見せながら、先頭を走りきって優勝、開幕からの4連勝を決めた。
	9	氏家 颯太郎	ウジケソウタロウ	KCKENT	42.356	3	2	10	2	15	
	2	藤原 優汰	フジワラユウタ	びいたあばん	42.490	5	3	10	3	15	
	10	岩間 翼	イワマツバサ	か-トゾウ ツキマ	42.163	2	4	10	4	15	
	11	下村 涼羽	シモムラリョウ	ナガオカート	43.059	7	5	10	5	15	
	13	長尾 祐星	ナガオユウセイ	びいたあばん	42.476	4	6	10	6	15	
	5	榊原 時代	サカキバラジダイ	びいたあばん	42.770	6	7	10	7	15	
	6	上田 樹希	ウエダイツキ		43.760	8	8	10	8	15	
カデット	1	松崎 清悟	マツザキシゴ	びいたあばん	33.442	2	3	10	1	15	ローリングスタート、ホールショットを奪ったアウトスタートの中世古を先頭に5台が激しく争う決勝、一旦は3番手に順位を落としたものの早くも2周目には2番手に上がった嶋田と3番手松崎が中世古を懸命に追い上げる。8周目、ホームストレートで嶋田が中世古に接触、中世古はコースアウトしてしまう。その後は4台でのバトルとなり、嶋田がトップでチェッカーをうけたが、中世古との接触が危険行為とみなされ3位降格、結果、松崎が第4戦のウィナーとなった。2位には4番手スタートの鎌苅が入賞した。
	5	鎌苅 一希	カマカリカズキ	びいたあばん	33.699	4	4	10	2	15	
	56	岩田 直人	イワタナオト	びいたあばん	32.987	NT	-	10	3	15	
	6	嶋田 隼人	シマダハヤト	びいたあばん	33.068	1	1	10	※4	15	
	22	中世古 実愛	ナカセコミナリ	びいたあばん	33.516	3	2	10	5	7(DNF)	
								※危険行為により3位降格			

クラス	ゼッケン	氏名	フリガナ	エントラント	タイムトライアル		予選		決勝		備考
					タイム	順位	順位	周回数	順位	周回数	
GT-4	8	片木 翔太郎	カタギショウタロウ	びいたあぼん	34.369	1	1	10	1	15	出場台数は少なくとも毎戦激しいバトルを繰りひろげるこのクラス、今回も出場3台ながら、3台が一同となって順位をめぐるしく入れ替えながらレースは進行して行く。決勝3周目、ヘアピンで2番手を走る大谷が片木に乗り上げ、その間に角越が先頭に出る。しかし5周目にはヘアピンで再び片木が先頭へ。大谷も2番手に順位を戻すが7周目には角越が再び大谷をかわして2番手へ。結果、片木が第1戦、第2戦に継ぐ3勝目を挙げた。
	2	角越 圭斗	スミコシケイト	びいたあぼん	34.665	3	2	10	2	15	
	3	大谷 玄真	オオタニゲンマ	びいたあぼん	34.630	2	3	10	3	15	
SKチャレンジ	3	駒田 隆介	コマダリュウスケ		34.947	3			1	10	スポーツカートの初心者クラスとしての位置づけで今シーズンから始まったSKチャレンジクラス。当日エントリーも可能で、初心者ならずとも誰でも気軽に参加できる。今回もさまざまなメンバーでの開催となった。まず、10分間の練習兼タイムトライアルがあり、そのタイムで決勝の出走順が決まる。レース、スタートで鹿谷をかわしてトップに立った金治、先頭を争っていた2台だが4周目に接触、2台ともストップしてしまう。代わって駒田が先頭を快走。すぐに復帰した金治は追い上げるも、そのまま駒田が優勝を決めた。
	11	金治 祥平	カナジショウヘイ		34.916	2			2	10	
	8	鹿谷 遼平	シカタニリョウヘイ		34.687	1			3	10	
	7	奥野 安真	オクノヤスマサ		35.832	4			4	10	
	10	佐々木 祐二	ササキユウジ		36.151	5			5	10	
	4	小林 浩	コバヤシヒロシ		36.668	6			6	10	
	6	武市 道博	タケイチミチヒロ		36.751	7			7	10	
SSチャレンジ	9	福井 啓輔	フクイケイスケ	シナジーリンクス	32.525	1	2	10	1	15	予選、先頭を走る下野、タイムトライアルPPの福井は下野の背後にピッタリ張り付き下野の前に出るチャンスを窺う。横に並びかけたもの前に出ることはできずそのまま決勝へ。決勝も予選と同じく下野を激しく追い上げる福井。サイドバイサイドに並びかけるもなかなか抜けない。11周目ヘアピンでようやく前に出た福井、今度は下野がインを差すがクロスラインで再び福井が前に。その後は下野をやや引き離し優勝を決めた。境と奥野の3位争いも最終周に先行する奥野をかわした境に軍配が上がった。
	5	下野 璃央	シモノリオ	びいたあぼん	32.666	2	1	10	2	15	
	3	境 奉史	サカイトモフミ	びいたあぼん	33.211	4	4	10	3	15	
	10	奥野 詩菜	オクノシイナ	F's クラブ	32.722	3	3	10	4	15	
YAMAHA SS	8	タネヴ タンコ	タネヴタンコ	びいたあぼん	31.858	1	1	10	1	15	決勝、3番手スタートのベテラン寺井がスタートでうまくトップに飛び出し、ポールスタートのタンコはテールツノーズで寺井を追う形に。本日絶好調のタンコは、5周目に寺井を抜き去るとその後は徐々に間隔を詰め、完全な独走態勢へ。そのまま余裕でトップチェッカーを受けた。第2戦、まさかのダブルチェッカーで優勝を逃したタンコ、今回は予選、決勝と、スタートで先行されてもいずれも落ち着いた走りでも抜き返し、文句なしの完全優勝で初優勝を飾った。2番手寺井に続く石田は最終周、寺井に急接近、2台重なるようにチェッカーを受けたが前にはいたらず、寺井2位、石田3位となった。2番手スタートの岸本慎介は1周目にスピリットリタイヤとなった。
	17	寺井 良斉	テライヨシマサ	F's クラブ	31.962	3	3	10	2	15	
	7	石田 健登	イシダケント	F's クラブ	33.363	13	6	10	3	15	
	14	大島 和也	オオシマカズヤ	シナジーリンクス	32.608	10	10	10	4	15	
	11	棚橋 慶輔	タナハシケイスケ	びいたあぼん	32.105	4	5	10	5	15	
	15	槻木 伸一	ツキギシンイチ	シナジーリンクス	32.389	8	11	10	6	15	
	9	紀平 晶希充	キヒラアキミツ	サーティーズR	32.415	9	9	10	7	15	
	1	岸本 尚将	キシモトナオマサ	びいたあぼん	32.383	7	12	2 (DNF)	8	15	
	19	橋田 正人	ハシダマサト	サーティーズR	32.900	12	8	10	9	15	
	20	安堂 祐	アンドウユウ	シナジーリンクス	32.337	6	7	10	10	15	
	13	紀平 真之介	キヒラシンノスケ	サーティーズR	32.163	5	4	10	11	15	
	16	駒田 隆介	コマダリュウスケ	シナジーリンクス	32.743	11	13	DNS	12	15	
3	岸本 慎介	キシモトシンスケ	F's クラブ	31.927	2	2	10	13	4 (DNF)		